



BEPPU UNIVERSITY

令和5年度

雇用主アンケート調査結果報告書

令和5年9月6日

別府大学

はじめに

令和5年度は、アセスメント・ポリシーに基づく「地元社会・産業界からの『外部評価』』として、卒業生の就職先での卒業生に対する評価を把握するためアンケートを実施しました。その結果、依頼に対して127件の回答が得られました。今回の調査は、就職した学生の学部・学科を問わずに行っているため、学科ごとのDP達成度を測ることはできませんでしたが、別府大学全体の傾向を知る上では大変参考になる結果が出たと考えています。忙しい中、アンケートにご協力いただいた企業・団体の関係者に感謝申し上げます。今後この結果を教育改善に活用し、高等教育機関である大学の教育の質保証に繋げていく所存です。

雇用主アンケート調査結果

問 1. ～問 6. は、主に回答いただく企業の状況について質問

問 1. 本社所在地

所在地	回答数	割合
大分県	51	40
福岡県	17	13
宮崎県	8	6
熊本県	11	9
長崎県	2	2
鹿児島県	4	3
関東地区	22	17
関西地区	6	5
中国・四国地区	1	1
上記以外	5	4

問1. 本社所在地

大分県	51
福岡県	17
宮崎県	8
熊本県	11
長崎県	2
鹿児島県	4
関東地区	22
関西地区	6
中国・四国地方	1
上記以外の地区	5

問 2. 従業員（職員）規模

従業員（職員）数	回答数	割合
1,001 以上（人）	34	27
301～1,000	36	28
101～ 300	32	25
51～ 100	9	7
21～ 50	10	8
20 以下	6	5

問2. 従業員（職..

1001人以上	34
301～1000人	36
101～300人	32
51～100人	9
21～50人	10
20人以下	6

問 3. 主たる業種

主たる業種	回答数	割合
卸・小売	22	17
医療・福祉	24	19
製造（食品・飲料）	5	4
製造（食品・飲料以外）	7	6
金融・保険	8	6
飲食サービス	8	6
上記以外	50	39
その他	3	2

問3. 主たる業種

卸・小売	22
医療・福祉	24
製造（食品・飲料）	5
製造（食品・飲料以外）	7
金融・保険	8
飲食サービス	8
運輸、郵便	4
教育・学習支援	3
建設	2
公務	9
広告・メディア	2
宿泊	1
情報・通信	6
農・林・水産	2
不動産・物品貸借	6
上記以外のサービス業	15
観光レジャー	1
特殊法人	1
農業協同組合	1

問4. 本学からの採用実績

本学からの採用数	回答数	割合
過去5年以内に採用した	117	92
過去5年超または時期不明	5	4
採用実績なし	5	4

問4. 本学からの採用実績

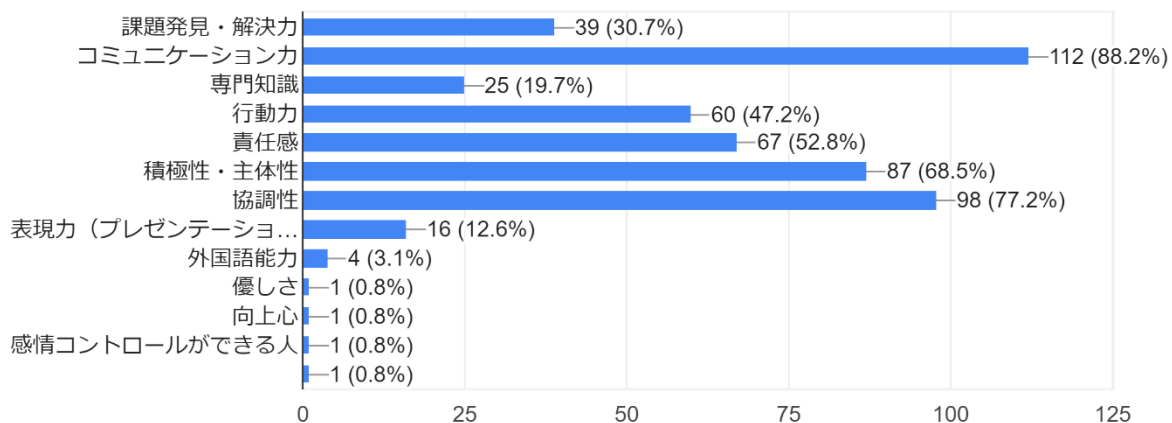
あり(5年以内)	117
あり(5年超または時期不明)	5
なし	5

問5. 求める（重視する）能力[複数回答可]

求める能力	回答数	割合
コミュニケーション力	112	88
積極性・主体性	87	69
協調性	98	77
責任感	67	53
行動力	60	47
課題発見・解決力	39	31
プレゼンテーション力	16	13
専門知識	25	20
外国語能力	4	3
上記以外	4	3

問5. 貴社が求める（重視する）能力はどのような能力ですか（複数回答可）

127件の回答

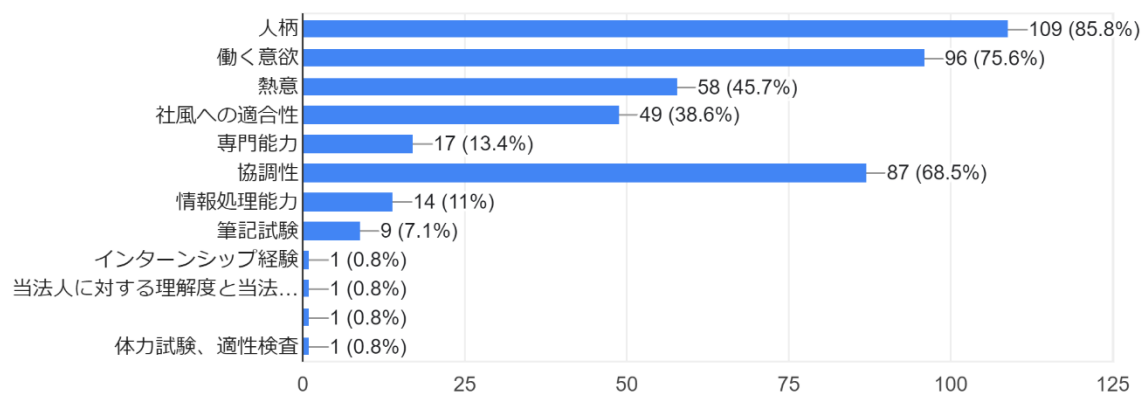


問6．重視する事柄[複数回答可]

重視する事柄	回答数	割合
人柄	109	86
働く意欲	96	76
協調性	87	69
熱意	58	46
社風への適合性	49	39
筆記試験	9	7
情報処理力	14	11
専門能力	17	13
インターンシップ経験	1	1
その他	3	2

問6. 採用において重視する事柄は何ですか（複数回答可）

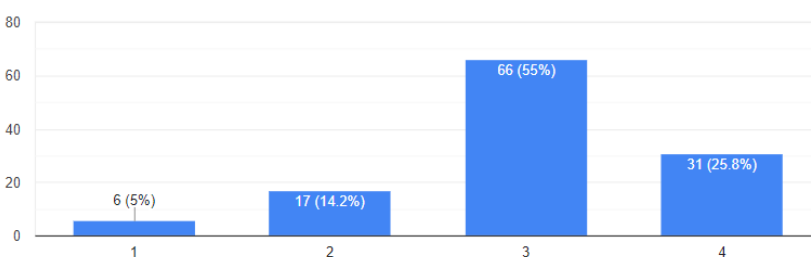
127 件の回答



問 7. ～問 16. は、本学卒業生の修得している能力について質問
[不足している]から[できている・ある等]を、1 から 4 の数値で回答

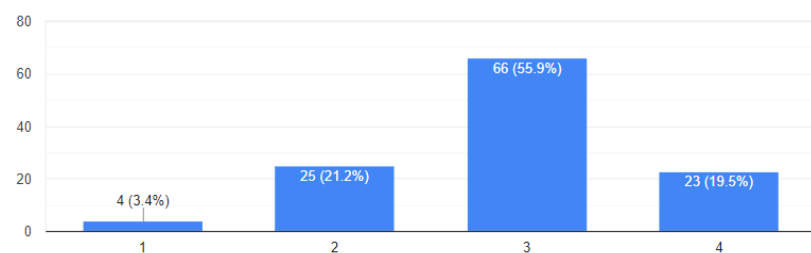
問 7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか

数値	回答数	割合
1 (低い)	6	5
2	17	14
3	66	55
4 (高い)	31	26



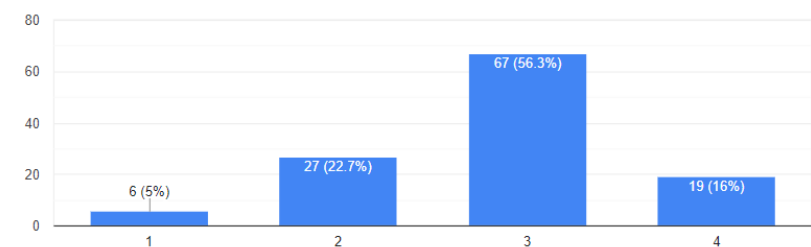
問 8. 専門分野で身につけた基本的な知識・技能を活かすことができているか

数値	回答数	割合
1 (低い)	4	3
2	25	21
3	66	56
4 (高い)	23	20



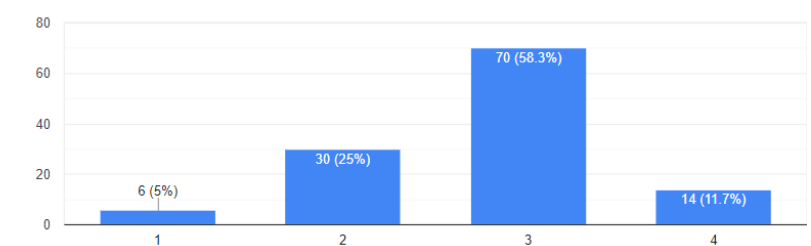
問 9. 論理的に考え分析する能力はあるか

数値	回答数	割合
1 (低い)	6	5
2	27	23
3	67	56
4 (高い)	19	16



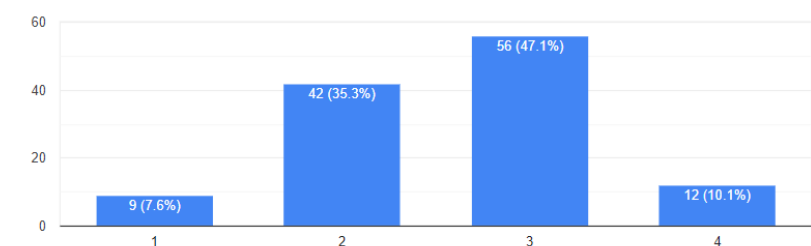
問 10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか

数値	回答数	割合
1 (低い)	6	5
2	30	25
3	70	58
4 (高い)	14	12



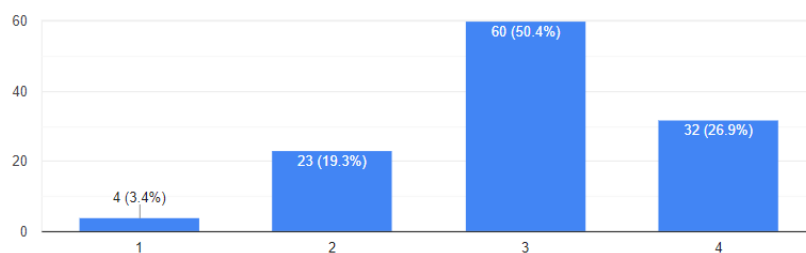
問 11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができているか

数値	回答数	割合
1 (低い)	9	8
2	42	35
3	56	47
4 (高い)	12	10



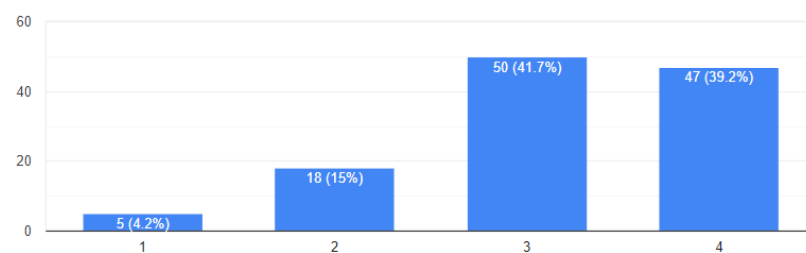
問 12. 組織において、他社や他部門と協調・協力して仕事を進めることができるか

数値	回答数	割合
1 (低い)	4	3
2	23	19
3	60	50
4 (高い)	32	27



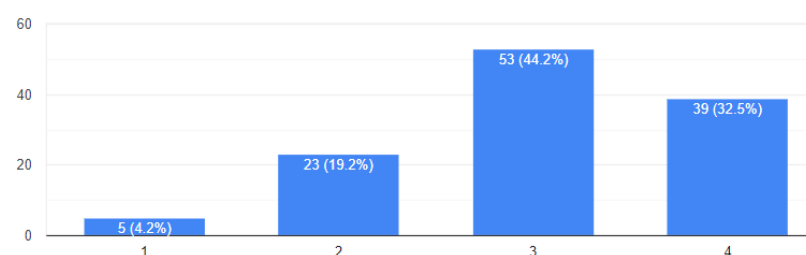
問 13. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか

数値	回答数	割合
1 (低い)	5	4
2	18	15
3	50	42
4 (高い)	47	39



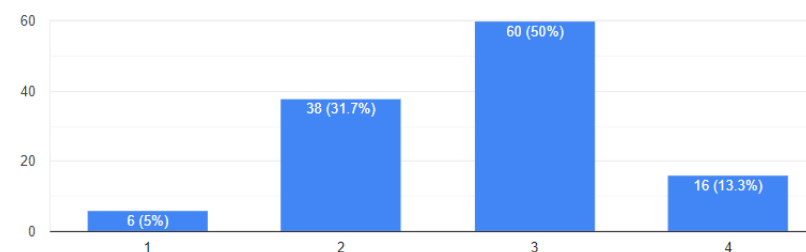
問 14. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか

数値	回答数	割合
1 (低い)	5	4
2	23	19
3	53	44
4 (高い)	39	33



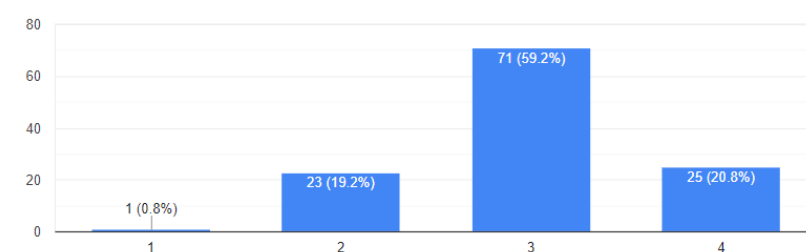
問 15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができるか

数値	回答数	割合
1 (低い)	6	5
2	38	32
3	60	50
4 (高い)	16	13



問 16. 基本的な情報処理能力（パソコンスキル等）を身につけているか

数値	回答数	割合
1 (低い)	1	1
2	23	19
3	71	59
4 (高い)	25	21



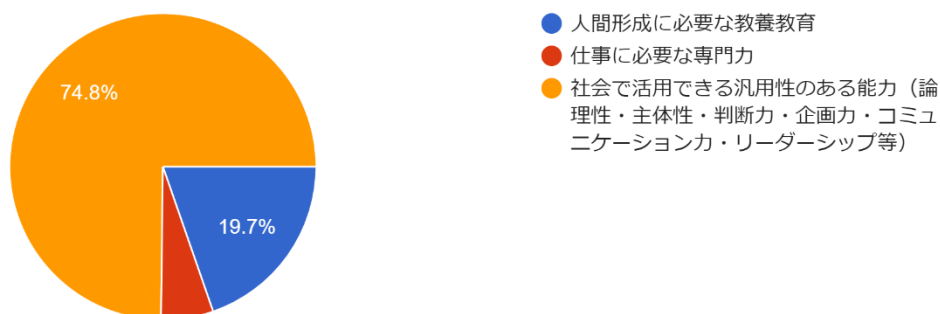
問 17. から問 18. は、回答いただく企業の今後の希望等について質問

問 17. 企業として本学で身に付けてもらいたい能力は何ですか

能力	回答数	割合
汎用性のある能力	95	75
教養教育	25	20
専門力	7	6

問17. 企業として本学で身につけてもらいたい能力は何ですか

127 件の回答

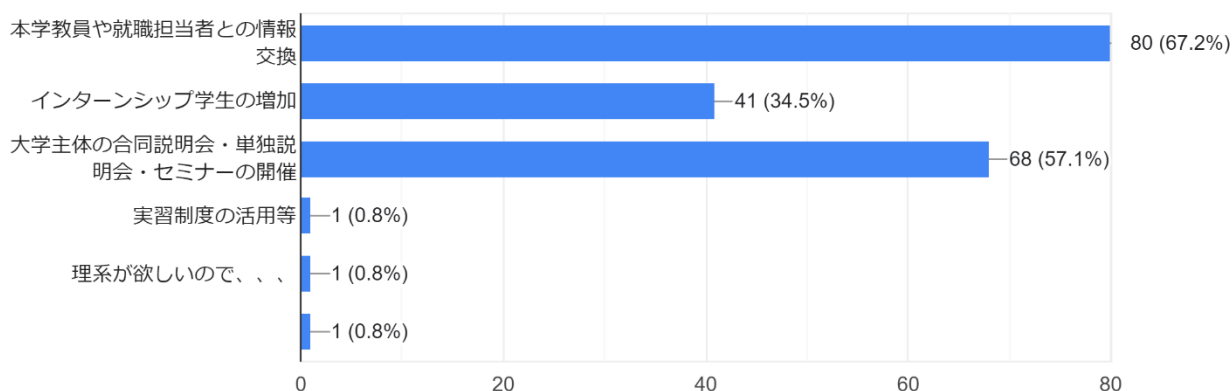


問 18. 今後、以下の事項について貴社が希望することはどんなことですか(複数回答可)

希望事項	回答数	割合
説明会実施	68	57
情報交換	80	67
インターンシップ	41	35
その他	3	2

問18. 今後、以下の事項について貴社が希望することはどんなことですか(複数回答可)

119 件の回答



自己評価

問 7 は教養、問 8 は専門力、問 9、10 は汎用力の中の思考力、問 11、12 は汎用力の中の実行力、問 13、14 は汎用力の中の表現力、問 15、16 は汎用力の中の情報力について調査を行った。

教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

（1）大学教育に必要な思考力や表現力などの基礎的素養を身につけ、本学の建学の理念、教育方針等を理解している。

（2）特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる。

（3）人間と文化の探求、現代社会の多面的理解、科学技術と自然環境の理解に必要な基礎的素養を身につけ、情報処理や英語の基本的なリテラシーを身につけている。

（4）専門分野の学修を通じて、人間や社会、学問等についての基礎的素養を身につけている。

問 7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか（81%）

※問の（ ）内は 3、4 と回答した割合

評価（1～4）	理由
3	質問に対する 4 段階評価のうち、3 及び 4 の評価をしたのは全体の 81%で、8 割を越える雇用主から肯定的な評価をいただいた（昨年度 83%より微減）。そのうち最も高い 4 の評価をしたのは 26%で、昨年度の同数値である。3 の評価は 55%で最多値であった。2 の評価をしたのが 14%で昨年度 18%より減少しているが、1 の評価が 5%あり、昨年度 0%より悪化した。全体の 2 割ちかくに社会人としての知識・教養が十分身につけていないと判断されている状況がうかがわれる。これは例年の傾向であるが、深刻化する予兆がみられる。問 17 で身につけてもらいたい能力として教養教育を挙げた企業等は 20%あり、昨年度 14%より増加している。今後も教養が不足しがちな学生への対策を考える必要がある。また企業等の考える教養の中身についても分析が必要と思われる。

専門力（専門に関する基本的な知識、技能）

＜社会的意義＞＜職業生活で評価される能力＞＜専門に関する能力＞

問 8. 専門分野で身に着けた基本的な知識・技能を活かすことができているか（75%）

評価（1～4）	理由
---------	----

3	質問に対する4段階評価のうち、3及び4の評価をしたのは全体の75%となり、一昨年度64%、昨年度69%より増加傾向が続いている。2の評価21%、1の評価3%の合計24%は、昨年度31%からの有意な減少といえる。問17で身につけてもらいたい能力として専門を挙げた企業等は6%と少ない傾向はつづいている（昨年度は5%）。企業側に入社してから育てるという観点もあることが問19の自由記載からもうかがわれる。学科ごとの専門性は資格とも関係するので、企業の言う専門が具体的にどのようなことを把握する必要もある。
---	--

汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）

（1）思考力

論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につけている。判断力、創造力、企画力などを含む。

問9. 論理的に考え分析する能力はあるか（72%）

問10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか（70%）

評価（1～4）	理由
3	質問に対する4段階評価のうち、問9では、3及び4の評価をしたのは全体の72%、問10では70%で、昨年度とほぼ同水準であった（昨年度それぞれ73%、71%）。最も高い4の評価をしたのは、それぞれ16%、12%であったが、問9では一昨年度7%、昨年度15%の推移から、いちおう昨年度なみの水準であり、問10では一昨年度12%、昨年度16%の推移から、一昨年度なみにもどったと言える。2の評価は問9で23%（一昨年度25%、昨年度27%）、問10で25%（一昨年度18%、昨年度28%）、1の評価はそれぞれ5%（昨年度は0%）となり、概して昨年度調査より悪い結果をしめしている。問17で身につけてもらいたい能力として汎用力を挙げた企業等は75%と例年同様高い数値を示しており、低い評価の底上げがやはり課題である。本学の課題解決型の授業をさらに吟味して強化することの検討が必要だろう。

（2）実行力

自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につけている。主体性、協働力、傾聴力などを含む。

問11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができているか（57%）

問12. 組織において、他者や他部門と協調・協力して仕事を進めることができているか（77%）

評価（1～4）	理由
---------	----

3	質問に対する４段階評価のうち、問１１では、３及び４の評価をしたのは全体の５７％、問１２では７７％であった。問１１では一昨年度５２％、昨年度５７％と推移しており昨年度なみ、問１２では一昨年度８０％、昨年度８９％で、かなり低下したと言わざるを得ない。一方２、１の評価も、問１１で３５％、８％、問１２で１９％、３％で、昨年度のそれぞれ４１％、１％、１１％、０％よりも概して悪化傾向を示している。本学卒業生のリーダーシップ資質が低く評価されている傾向は従来と同じであるが、従来は高めであった協調性も低下傾向を示すなど、より広範な育成改善を検討していくことが必要であろう。
---	---

(3) 表現力

自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につけている。発信力、日本語力、外国語力などを含む。

問１３．場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか（８１％）

問１４．自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか（７７％）

評価（１～４）	理由
3	質問に対する４段階評価のうち、問１３では３及び４の評価をしたのは全体の８１％（一昨年度８８％、昨年度８５％）、問１４では７７％（一昨年度７９％、昨年度８５％）であった。コミュニケーション力評価が低下しているのは、注意すべき点である。企業が求める能力や事柄として、コミュニケーション力や人柄が上位にあることから社会人としての「常識」をしっかりと身に付けてもらうための教育の充実を図るための努力を継続して行うべきだと考える。

(4) 情報力

我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につけている。情報収集分析力、ＰＣスキルなどを含む。

問１５．社会の動向や問題に関心をもち、必要な情報を収集することができているか（６３％）

問１６．基本的な情報処理能力（パソコンスキル等）を身につけているか（８０％）

評価（１～４）	理由
3	問１５は、外部からの情報を収集する能力であり、問１６は、パソコンのスキルそのものの操作能力ということになり、同じ「情報力」の質問であるが、本質的にはことなる質問である。個人が情報を収集するのにこの２つの質問は連動してくると考えられるが、問１５では、３と４の評価は６３％であった。昨年度７２％、昨年度６０％と比較すると一昨年度なみにもどった言わざるを得ない。問１５は高位を維持している（昨年度７９％）。本学のＩＣＴ教育の成果はでており、これは維持するとともに、操作だけでなく有益な情報の探し方への教育への工夫も必要

	であろう。
--	-------

総評：

問17にあるように、企業側が「本学で身に付けてもらいたい能力」は汎用力（75%が回答）が圧倒的であり、教養教育（20%）、専門力（6%）は低いものであったが、それぞれ汎用力は昨年度よりは低下、教養教育と専門力は増加または微増をしめしている。また問5の「求める（重視する）能力」でコミュニケーション力が88%、協調性が77%、積極性・主体性が69%、責任感が53%だった。問6「重視する事柄」では人柄86%、意欲76%、協調性69%が高い数値であった。人柄、コミュニケーション力、協調性、汎用力、意欲が企業等が求めるキーワードと言えそうである。

問7から問16については、問9から問16までが汎用力に関する回答であり、この部分の8つの回答で3、4合計の平均は72.1%。最も高いのが問13の言葉遣いやマナー（81%）、最も低いのが問11のリーダーシップ性（57%）だった。企業の求める汎用力は、本学の第三期中期計画の「自ら考え、自ら立つ」人材育成、「全学生の人間的成長」の内実でもありと考え、今後のカリキュラムの編成を検討すべきであろう。ただし企業側の「求める能力」で低かったとはいえ、教養、専門力の強化は多様な人間的成長をささえ、汎用力をささえる力とも考えられる。教養、専門の内実の検討も行った上で、長いスパンでの効果をも重視した大学教育を考えて、出口戦略を構築しなければ、学生の質の向上、ひいては就職の質の向上につながらないを考える。また、よせて頂いた自由意見は真摯に受け止め、大学の質向上に努めることが強く求められている。

資料

「問19. その他、自由意見を記載をお願いします。」

※個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

- ・本来は理工系の学生を求めているが、一定の倫理性や判断力があれば、入社してからの教育で育てて行きたいと考えております。
- ・媒体（マイナビ）からの学生離れが見受けられます。より大学と企業の連携が重要と考えます。引き続きよろしくお願いいたします。
- ・別府大学卒業生の皆さんは、使命感をもって仕事に取り組み、キャリアを積み重ねています。
- ・この度は貴校の学生様を弊社に送り出していただきありがとうございました。
- ・卒業生を同行しての学校訪問等実施させて頂きたいと思いますので、宜しくお願い致します。
- ・貴校卒業生は素直で元気な方が多く、グングンと成長しております。今後もお預かりする学生様おりましたら〇〇に入社して良かったと思ってもらえるように努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
- ・求められる企業像などを教えていただきたいです
- ・保育園が5園あるというのは珍しく園によって雰囲気も違うし、色々な子どもたちの姿がみれることはとても嬉しいことですし、とてもいい経験ができると思います。今、大学を卒業して4月から入社した方が頑張っていて、若いアイデアをもらい楽しく仕事できています！子どもたちもその先

生が大好きです。来年度も募集しているので、今いる栄養士と一緒に楽しく園児たちの為に働きませんか？是非お待ちしております！

- ・貴学の卒業生は優秀で弊社でも活躍されています。今後ともよろしくお願いいたします。

- ・弊社は、測量・建設コンサルタントの会社ですが、埋蔵文化財調査業も行っており、貴学卒業生が多く活躍しています。可能ならば、測量も選択で学べるようにしていただければ、就職の際、弊社のみならず有利に働くと思います。

- ・二年続けて採用したが、一年目が酷すぎて、貴校の合格、進級レベルを疑った。アンケートは昨年の思いで記入した。氏には退社してもらった。今年は普通の人が来てくれた。ただ、コミュニケーション力は高いが、一般教養としては低いと思う。当人のこれからの頑張り次第と思う。

- ・貴校からの入職者は令和5年度の新卒採用ですので、現時点でのリーダーシップは望んでおりませんが、業務への真面目で素直な姿勢、真摯で積極的な取り組みには非常に好感が持てます。今後の更なる活躍が期待できる人材と判断しています。

- ・採用後6か月間は県の消防学校へ入校しているため、問7～問16について現時点では評価できない。

- ・日頃よりお世話になっております。引き続きよろしくお願いいたします。

- ・参考になりますと幸いです。

- ・今後とも宜しくお願い致します

- ・提出が遅れてしまい申し訳ございません。本年以降も何卒よろしくお願いいたします。

別府大学アセスメントポリシー

1. 目的

別府大学は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、厳格で客観的・公正な成績評価を行ない、かつ、成績評価を含めた複数の方法で学生の学修到達状況を多角的・総合的に評価することによって、教育の質の向上及び教育の質の保証を行う。

2. 成績評価

別府大学は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、シラバスに明示した授業の到達目標及び評価方法並びに学科履修規程に明記された成績評価の区分によって、厳格で客観的・公正な成績評価を行う。

3. 成績評価を含めた多角的な学修到達状況の評価

別府大学は、2の成績評価に加え、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、各学科・課程等（学位又は教育プログラム策定単位）を基本に、その学修内容等に応じ、下記から選択した複数の方法で学生の学修到達状況や達成すべき質の水準を多角的・総合的・客観的に検証（測定）・評価する。このことによって、ディプロマポリシー（学修到達目標）を起点としたPDCAサイクルを回し、授業内容、授業方法、評価基準、カリキュラム、入学者選抜などについて改善を図るとともに、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの各ポリシーについて必要な見直しを行う。さらに、学修成果(到達目標)の達成度評価を集約し、別府大学全体の学修成果の達成状況进行评估する。

① ポートフォリオ学修支援システムでの「学生による評価」

学生自身が、ポートフォリオ学修支援システムを利用して、学修成果(到達目標)の達成度を自己評価する。

② 口頭試問での「教員による評価」

卒業時に修得することが期待される学修成果(到達目標)を、卒業論文・卒業制作発表会または口頭試問によって評価する。

③ まとめ試験による「客観評価Ⅰ」

科目区分毎に「まとめ試験」による内部アセスメントテストを行い、修得することが期待される学修成果(到達目標)について達成度を確認する。

④ アセスメントテストによる「客観評価Ⅱ」

客観的な評価を行うために、外部テストなどを利用したアセスメントテストによって、学修成果(到達目標)の達成状況进行评估する。

⑤ 卒業生調査による「卒後評価」

別府大学教育への評価、職業生活や社会生活での必要な知識と能力、別府大学への希望などについて、卒業生への調査を行うことで、学修成果(到達目標)の達成状況进行评估する。

⑥ 地元社会・産業界からの「外部評価」

在学生においては、実習先訪問や実習連絡会議等を通して、学外実習先の企業や施設などでの学生に対する評価を把握し、到達目標の達成度进行评估する。卒業生においては、就職先の企業等での卒業生に対する評価を把握し、到達目標の達成度进行评估する。

⑦ 卒業時における学修成果達成度調査

卒業年次生を対象に、本学のディプロマ・ポリシーに掲げられた目標がその程度達成できたかについて評価する。

⑧ CP 等（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育課程プログラムの成果の検証

各科目や学科ごとの GP の分布を調査し、その結果に基づき、問題点はないかを検証する。

⑥ 地元社会・産業界からの「外部評価」

目的：別府大学アセスメント・ポリシーでは、評価指標⑥として「地元社会・産業界からの『外部評価』」を定めている。これに基づき、「令和元年度雇用主アンケート」の結果から DP 達成度を評価し、本学の教育・研究上の課題を明らかにする。

実施方法

- 「令和元年度雇用主アンケート」の結果に基づき、別府大学のすべての学部・学科の学生が共通して身につけることとしている①教養 ②専門力 ③汎用力について、それぞれ 4 段階で到達度を評価する。
- 4 段階の評価基準は、以下の表のとおりとする。

評価	評価の基準
4	DP の達成度が 80%以上
3	DP の達成度が 60%以上 80%未満
2	DP の達成度が 40%以上 60%未満
1	DP の達成度が 40%未満

- DP の 3 つの力について、達成度についての総評を行う。

評価結果の集約：各学科・部署で実施するアセスメント・ポリシーに基づく調査等の結果は、IR 推進委員会が集約する。

評価結果の報告・公表：評価結果は学長への報告後、大学企画運営会議で報告し、別府大学ホームページ上に公開する。

企業等へのアンケート調査依頼文

令和5年7月20日

採用ご担当者各位

別府大学
学長 友永 植

アンケート調査ご協力をお願い

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、本学学生の就職活動及び採用につきまして格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、別府大学では、企業・団体等の採用担当者の皆様を対象にアンケート調査を実施しております。本学学生の採用にあたって、貴組織に必要な人材となるための力について等のご意見をお伺いし、本学の今後の教育力の向上、改善に活かしたいと考えております。

つきましては、下記の方法にて実施いたしますので、ご多用中大変恐縮ですが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 目的

各企業・団体の採用担当者の皆様に、本学学生の採用や仕事面における必要な人材についてご意見

をお伺いし、今後の教育力の向上や改善に活かしたいと存じます。

2. 調査対象

本学卒業生の就職先

3. 回答期限

令和5年8月10日（木）

4. 実施方法、回収方法

URL または QR コードを用いて、インターネット上のアンケートページにアクセスして回答する。

※なお、回答は機械的に処理され、社名等が特定できるような形で利用されることはありません。

URL : <https://forms.gle/T6hQJbck5VK8wwET7>



<問い合わせ>

〒874-8501 大分県別府市北石垣8-2

別府大学キャリア支援センター（高橋敏、高橋良三）

Tel:0977-66-9623

以上

別府大学 卒業生に関するアンケートご協力をお願い

このたび企業・団体等の採用担当の皆様を対象にアンケート調査を行うこととなりました。本学学生の採用や仕事における必要な能力についてご意見をおうかがいし、本学の今後の教育力の向上、改善に活かしたいと考えております。ご協力の程よろしくお願いいたします。

尚、回答は統計的に処理され、社名等が特定できるような形で利用されることはありません。

内に該当の番号をご記入ください。

○貴社について（基本項目）

問1. 本社所在地

1. 大分県 2. 福岡県 3. 宮崎県 4. 熊本県 5. 佐賀県 6. 長崎県 7. 鹿児島県
8. 沖縄県 9. 中国・四国地区 10. 関西地区 11. 関東地区 12. 上記以外の地区

問2. 従業員（職員）規模

1. 20人以下 2. 21～50人 3. 51～100人 4. 101～300人
5. 301～1000人 6. 1001人以上

問3. 主たる業種

1. 農・林・水産 2. 建設 3. 製造（食品・飲料） 4. 製造（食品・飲料以外） 5. 情報・通信
6. 広告・メディア 7. 運輸・郵便 8. 卸・小売 9. 金融・保険 10. 不動産・物品貸借
11. 宿泊 12. 飲食サービス 13. 教育・学習支援 14. 医療・福祉 15. 上記以外のサービス業
16. 公務 17. その他

問4. 本学からの採用実績

1. なし 2. あり（5年以内） 3. あり（5年超または時期不明）

○人物像について

問5. 貴社が求める（重視する）能力はどのような能力ですか（複数回答可）

1. 課題発見・解決力 2. コミュニケーション力 3. 専門知識 4. 行動力 5. 責任感
6. 積極性・主体性 7. 協調性 8. 表現力（プレゼンテーション力） 9. 外国語能力
10. その他（ ）

----------------------	----------------------	----------------------

問6. 採用において重視する事柄は何ですか（複数回答可）

1. 人柄 2. 働く意欲 3. 熱意 4. 社風への適合性 5. 専門能力 6. 協調性
7. 情報処理力 8. 筆記試験 9. インターンシップ経験 10. その他（ ）

----------------------	----------------------	----------------------

（本学からの採用実績がある企業様へ 問7～16について1～4で回答してください）

問7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか

不足している ←————→ 身につけている
1 2 3 4

問8. 専門分野で身につけた基本的な知識・技能を活かすことができているか

不足している ←————→ できている
1 2 3 4

問 9．論理的に考え分析する能力はあるか

不足している	←————→	ある
	1 2 3 4	

問 1 0．主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか

不足している	←————→	ある
	1 2 3 4	

問 1 1．組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか

不足している	←————→	できている
	1 2 3 4	

問 1 2．組織において、他社や他部門と協調・協力して仕事を進めることができるか

不足している	←————→	できている
	1 2 3 4	

問 1 3．場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか

不足している	←————→	身につけている
	1 2 3 4	

問 1 4．自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか

不足している	←————→	身につけている
	1 2 3 4	

問 1 5．社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができるか

不足している	←————→	できている
	1 2 3 4	

問 1 6．基本的な情報処理能力（パソコンスキル等）を身につけているか

不足している	←————→	身につけている
	1 2 3 4	

○本学に求めるもの、期待するものについて

問 1 7. 企業として本学で身に付けてもらいたい能力は何ですか

1. 人間形成に必要な教養教育
2. 仕事に必要な専門力
3. 社会で活用できる汎用性のある能力

(論理性・主体性・判断力・企画力・コミュニケーション力・リーダーシップ等)

--

問 1 8. 今後、以下の事項について貴社が希望することはどんなことですか(複数回答可)

1. 本学教員や就職担当者との情報交換
2. インターンシップ学生の増加
3. 大学主体の合同説明会・単独説明会・セミナーの開催
4. その他

--	--

問 1 9. その他、自由意見を記載お願いします。

{		}
---	--	---

別府大学卒業生に関するアンケートは以上になります。回答ありがとうございました。